



### どのような思いで移住を決めたのですか

【佐藤】 都会生活が嫌になったというのも、きっかけになっています。渋滞や満員電車に疲れたというところもあります。鹿屋市が一番暮らしやすいと思います。



佐藤 耕一 さん  
(前住所：神奈川県海老名市)

【船木】 九州は気候が温暖で、南に下るほど、人も陽気になってくるのを感じました。寒いのが苦手だったことも原因です。鹿屋は肉や野菜がとてもおいしいと感じますね。



松木 克祐 さん・聖子さん夫妻  
(前住所：鳥根県浜田市)

にお金もかからないと思います。

【井上】 移住先の条件として、今までずっと都会暮らしだったので、本当の田舎では暮らしにくいと考えていました。

鹿屋市は、ある程度都会で利便性もあって、移住先の条件を満たしていました。自然も豊富で、観光地もあり、都会的な環境もあります。

いくらでも楽しいところがありますね。

【船木】 移住情報については、これからはSNSだと思っています。移住先の情報をインターネットで探して、九州地区でこちらが必要な情報が出ていたのは、鹿児島県内では鹿屋市と大崎町だけでした。

「空き家バンク」の情報もたくさん出ていて、物件の間取りや部屋の状況等、具体的に把握できたのも鹿屋市だけでした。

住宅改修助成制度については助かりましたが、助成金を目当てに来た人は、それを目当てに、またほかの市へ移住してしまうのではないかと思います。なので、あまり助成制度を重視しなくてもいいのではないのでしょうか。移住してくる人の質が落ちる気がします。

## 移住者との「本気」で語ろう会を開催しました

10月23日、吾平町上名の黒羽子地区で、鹿屋市への移住者との「本気で語ろう会」を開催しました。会場は、今年5月に神奈川県藤沢市から移住してきた井上亮さんが住む一軒家。

井上さんを含む4世帯6人の移住者と、井上さんの住宅のオーナーである大園次男さん・トミ子さん夫妻が参加し、移住のきっかけや、鹿屋市の魅力などを本気で語ってもらいました。

※参加者の発言内容は一部省略しています。



### 鹿屋市に来て感じたことを教えてください

【川口】 鹿屋市は志布志に近く、「さんふらわあ」などがある



川口 勲 さん・千代美さん夫妻  
(前住所：滋賀県東近江市)

ので、バイクを乗る人にとっては、アクセスがいいと思います。そういう魅力アピールしたらいいと思います。

【井上】 農業に従事している人でも、一部の人はかなりの所得を得ているようですね。そういった面でもアピールすれば、鹿屋市に移住者も増えるのではないかと思います。

【船木】 鹿屋市に来て農地がいっぱいあることに将来性を感じました。トラクターが道路を走っているのを見てびっくりしました。串良でも農業が集約されていて、大規模集約型の農業

### 【井上】

きっかけはいくつもありますが、仕事に限界を感じたのもその一つ。都会の生活に息苦しさを感じていました。

移住後は、もう仕事はしなくてもいいかなと思っていました。しかし、今はこちらに住んでみて大家さんとも非常に良い関係を持ち、地域の皆さんのお手伝い等をしながら忙しく過ごしていることに満足しています。



井上 亮 さん  
(前住所：神奈川県藤沢市)

### どうやって「鹿屋市」を知ったのですか

【佐藤】 福岡県で働いていたのですが、出張で鹿児島県に来たことがあって、九州で一番好きな県になったのです。その時は大隅を訪れる機会は無かったのですが、都会に帰って移住を考えた時に、大隅地区に行きたいと思うようになりました。

都会は家賃が高いですね。こちらは仕事の賃金は低いですが、総合的にみると、そんな

をやるのであれば適地であると感じました。

それから鹿屋市の街並みはいいと思っています。ここに住んでみて感じたのは、遺跡や戦跡がとて多いこと。ただ、案内の看板が分かりにくいですね。もっとアピールすべきではないでしょうか。現状では、探しても、どこにあるか分からないことが多いように思います。

知覧は有名ですが、鹿屋市の特攻基地は知りませんでした。

### INTERVIEW

空き家に住んでくれる人がいて私たちも家も喜んでいきます



「空き家バンク」オーナー  
大園 次男さん・トミ子さん夫妻

私(次男さん)は、ここ上名の黒羽子地区に小さい頃から住んでいて、30年ほど生活していました。今は同じ吾平町の下名で暮らしています。

都会暮らしの井上さんの移住については、正直、大丈夫かなと思いましたが、5月に移住して以来、誰とでも親しくなり、農作業もよく手伝ってくれたため、周囲の人も喜んでいました。今では、井上さん本人も、野菜を作ったり、トラクターを使いこなすようになってきました。

ここは田舎でも不自由ない場所だと思っています。野菜も自分で作れるし、今は移動販売の買い物もできます。水もおいしいです。このような環境を楽しんでいる人にとっては、とてもいい場所だと思います。

串良の平和公園も知りませんでした。

### 地域住民との関係はどうですか

【船木】 近所の方々がとてもよくしてくれます。地域の料理をいただいたり、作り方を教えてもらったりしています。職場の若い女性が地元から出たかないと話すのを聞くと、やっぱり鹿屋市はとても暮らしやすいところなのだなと思います。

## 鹿屋が「移住しやすい街」にランクイン!

朝日新聞出版発行の週刊誌『AERA』の平成27年9月14日号の特集記事「移住しやすい街110」で、鹿屋市は1位～23位圏内にランクインしました。これは、人口の流出入、子どもの数や病院の多さ、家賃の安さなどの客観的な統計データを基に『AERA』が独自に抽出したもので、全国から320の自治体をランキング付けした上で、その中から110の自治体を選出。更に鹿屋市を含む上位23の自治体をピックアップして紹介しています。

なお、子育て世代と高齢者にとって、いずれも最高ランクと評価されたのは、鹿屋市を含む6自治体のみ。記事の中で、鹿屋市は「豊かな食材を育む自然環境を有し、市街地には商業施設・病院・教育機関などが充実。ほどよい地方都市」として、子育て世代と高齢者にとって移住しやすい街と紹介されています。